

成人看護学

専門分野

(令和4年度1年生用)

授業科目	成人看護学総論	講師	氏名	長谷川京子	開講年次	単位・時間	
			所属	専任教員	1年次 前～後期	1単位 30時間	
			実務経験	臨床看護師			
科目の ねらい	成人期は青年期・壮年期・向老期と人生で最も長い期間社会的役割を担う時期であり、その役割の変化に適応していき、自立し自律した存在である。成人看護学総論では成人を身体的・心理的・社会的側面から成長発達する存在として捉えると同時に、成人の健康と健康生活の特徴を捉えていく。成人期の生活習慣が壮年期以降の健康状態に大きく影響することを理解し、成人の健康生活を育む看護活動や成人の健康が破綻したときの看護について学ぶ。						
到達目標							
知識・技術	1. 成人期の各期の特徴と発達課題を説明できる。 2. 成人の生活と健康の説明できる。						
思考・ 判断・表現	1. 成人における健康の保持・増進や疾病の予防について考察できる。 2. 成人を取り巻く様々な要因に関連した健康障害について言語化できる。						
主体的学習 態度	1. 自己を取り巻く健康に関する環境について考えることができる。						
科目評価	①定期試験(筆記) 80% ②課題(レポート含) 20% 合計100%						
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[1] 成人看護学総論(医学書院)						
参考文献	ナーシンググラフィカ 成人看護学 ① 成人看護学概論(メディカ出版)						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	I 成人の生活と健康 1 対象の理解: 大人になること・大人であること 2 対象の生活: 働いて生活を営むこと	○			長谷川京子 看護学へようこそ 発達心理学 家族看護学 文化人類学 医療人類学 地域生活支援 社会保障 公衆衛生	事前課題① 青年期の発達 アイデンティティ 親密性の獲得 成人期にある人の理解 (レビンソンの発達理論)	
2	II 生活と健康 1 成人を取り巻く環境と生活から見た健康 2 生活と健康を守り育むシステム	○					
3	III 成人への看護のアプローチの基本 1 アンドラゴジー 2 コンプライアンス・アドヒアランス 3 エンパワメント 4 自己効力感 5 チームアプローチ	○					
4	IV 健康を脅かす要因と看護 1 生活習慣に起因するもの 2 職業環境に起因するもの	○					
5						事前課題② 「フィンクの危機モデル」	
6	V・青年期の特徴 1 青年期とは 2 成長発達の特徴 3 身体的・心理的・社会的な特徴 4 生活の特徴	○					
7	1) 成人の生活を理解する視点と方法 2) 健康観の多様性と看護 5 学習の特徴と理解	○					
8	VI・壮年期の特徴 1 青年期とは 2 成長発達の特徴 3 身体的・心理的・社会的な特徴 4 生活の特徴	○				事前課題③ 「生活習慣病について」	
9	1) 成人の生活を理解する視点と方法 2) 健康観の多様性と看護 5 学習の特徴と理解	○					
10	VII・向老期の特徴 1 青年期とは 2 成長発達の特徴 3 身体的・心理的・社会的な特徴 4 生活の特徴	○					
11	1) 成人の生活を理解する視点と方法 2) 健康観の多様性と看護 5 学習の特徴と理解	○				事前課題④ 「健康段階とは」	
12	VIII 「成人期を健やかに過ごす」を考える	○					
13				○		*今までの学習をもとに町づくり	
14	IX・宗看タウン作りと発表			○			
15				○			
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						